

宮崎大学教育学部附属中学校 令和6年度公開研究会

研究主題
持続可能な社会の創り手を
育成するための教育活動の在り方
～ファシリテートに基づく学びの追究～

開催日程

令和6年12月5日(木) 午前9時から午後4時5分まで

場 所 : 宮崎大学教育学部附属中学校

受付 : 8:30-9:00 体育館ピロティ

後援 : 宮崎県教育委員会

宮崎県市町村教育委員会連合会

タイムテーブル

全体説明

9:00-9:20

体育館アリーナ

公開授業Ⅰ

説明 9:30-9:50

授業 9:50-10:40

各教室

公開授業Ⅱ

説明 10:55-11:15

授業 11:15-12:05

各教室

実践発表会

15:15-15:55

各教室

教科別分科会Ⅰ・Ⅱ

Ⅰ 13:35-14:15

Ⅱ 14:25-15:05

各分科会場

生徒発表

12:55-13:25

体育館アリーナ

研究公開の開催にあたって

本校は、平成29年度より、キャリア教育を軸として生徒の未来づくりに取り組んできました。生徒の現在と未来、また、学校と社会を接続していくことができるよう、キャリア教育を「将来への準備教育」と位置づけ、学校の教育活動を展開しています。

本年度は、研究主題を「持続可能な社会の創り手を育成するための教育活動の在り方」、副題を「ファシリテートに基づく学びの追究」として設定しました。昨年度までの研究を踏まえ、変動が激しい時代において活躍できる人材を育成していくという決意をもって研究を進めています。

さて、変動が激しい時代に活躍できる人材とは、どのような人材なのでしょうか？私たちは、持続可能な社会の創り手である、と定め、本校のゴールとして、①新たな価値を創造する生徒、②学び続けることができる生徒、③社会に貢献しようとする生徒、と設定しました。そのような生徒を育てるための手立てとして考えたのが、ファシリテートに基づく学びです。ファシリテートとは、適切な支援を行うことで、対話やグループ活動の中で得られる学びを最大化していくための一つの方法です。そのような支援を行うことで、授業や様々な活動での学びの質が向上し、ひいては、中学校段階でのゴールに近づくと考えました。

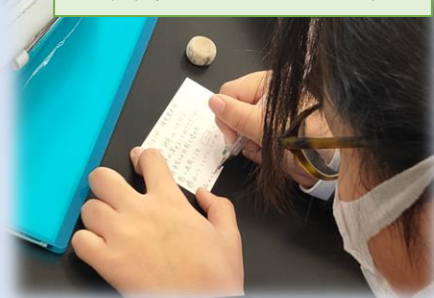
公開授業Ⅰ・Ⅱにおいては、この仮説に基づいた授業実践や諸活動を公開し、教科別分科会の中で、その妥当性について多様な視点から議論していきたいと思っています。また、今回の公開研究会においては、生徒発表とともに、教師の実践発表を行います。生徒発表では、生徒が学校生活を送る中で、より良い学校（社会）をつくっていくために行った活動についての発表を、実践発表では、私たち教員が自身がどのようなことを考え、実践しているのか等、日々の実践や悩みの一端を生々の声を通してお伝えしていきます。

公開研究会に多くの方に御出席いただき、本校の研究や今後の教育の在り方について、一緒に考える機会になればと考えています。よろしくお願いします。

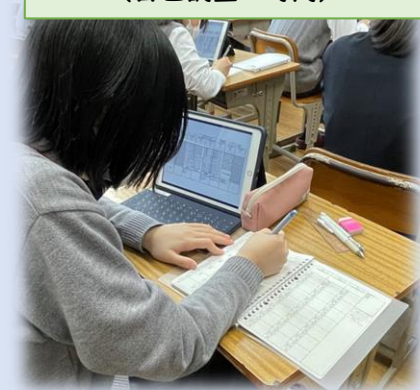
生徒主体の学校行事



学びや気づきの記録
(情報生産カードの活用)



計画を手帳に記入
(自己調整の時間)



生成AIを活用した授業



ファシリテートに基づく学び



公開授業 I

説明 9:30－ 9:50

授業 9:50－10:40

教科別分科会 I

13:35－14:15

教科	授業者・学年	単元名（題材名）	指導助言者
国 語	茨木 美沙希 (3年C級)	現代を生きる私たちの姿から文学作品を読み解き、書評を書こう ～ライトで読みを深める 「故郷」～	宮崎大学 教育学部 教授 中村 佳文
社 会	嶋田 タ人 (1年A級)	世界の諸地域の終わりに ～当事者意識をもたせる 単元構成の在り方～	宮崎県教育庁 義務教育課 指導主事 島崎 博英
数 学	中武 美由紀 (1年C級)	図形の調べ方 ～円とおうぎ形の計量～	宮崎県教育庁 義務教育課 指導主事 加藤 恭子
理 科	宇都宮 慎一郎 (3年B級)	電池とイオン ～ダニエル電池の電圧を 変化させるには～	宮崎大学 教育学部 講師 中村 大輝
音 楽	福山 光代 (2年C級)	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解しながら、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌おう ～外国語科との教科横断的な学習を取り入れたカリキュラムの在り方の考察～	宮崎県教育 研修センター 主幹 濱崎 かおり
美 術	立花 克樹 (1年D級)	自然の美しさから生まれた ～表現と鑑賞の一体化を考える～	宮崎県教育庁 北部教育事務所 主幹 菊池 憲
保健体育	倉掛 啓輔 (3年D級)	文化としてのスポーツの意義 ～人々を結び付けるスポーツの 文化的な働き～	宮崎県教育庁 スポーツ振興課 指導主事 外園 武志
技 術	小八重 智史 (2年A級)	C(2)エネルギー変換の技術による 問題解決 ～シンプルな仕組みで気が利くライト をつくろう～	宮崎県教育 研修センター 指導主事 竹野 弥生
家庭科	宮本 由宇 (2年D級)	“自分らしく安全・安心に住まう”とは どういうこと？ ～安全・安心に住まうために 私たちは何ができるか～	
外国語	清山 菜穂子 (1年B級)	Unit6 Think Globally, Act Locally ～Save Aoshima!～	宮崎大学 教育学部 講師 興津 紀子

公開授業Ⅱ

説明 10:55-11:15

授業 11:15-12:05

教科別分科会Ⅱ

14:25-15:05

教科	授業者・学年	単元名(題材名)	指導助言者
道徳	亀井 章人 (3年A級)	「二通の手紙」 ～生徒発の問いで当事者意識を 高める～	宮崎県教育庁 義務教育課 指導主事 大竹 進太郎
総合的な 学習の時間	弓削 聖一 (1年A・B級)	仕事を体感する ～企画づくりの探究～	宮崎県教育 研修センター 指導主事 草刈 淳
学級活動	寶田 光貴 (2年B級)	議題名:一空一翔 ～最高のフィナーレを目指して～	宮崎県教育庁 義務教育課 指導主事 田中 義栄
諸活動	小林 直子 (2年A級)	問いで考える 朝の10分間NIE	宮崎県教育 研修センター 副主幹 永田賢吾
生活単元 (特別支援 教育)	水谷 泰 (2年E級)	生活単元学習 ～修学旅行を成功させよう～	

申し込み方法

QRコードまたは下のURLよりお申込みください。

<https://forms.gle/pD924hf7dNsciNLd6>



申込締切: 令和6年11月22日(金)

- ・研究紀要については、11月中頃までには、本校ホームページ(<https://www.miyazaki-u.ac.jp/jhs/>)にURLをお示しします。必要に応じてダウンロードをお願いします。
- ・当日はタブレット等を御使用になられる際には、本校のWi-Fiに接続可能です。
- ・お弁当(お茶なし)は500円で注文可能です。参加申し込みフォームからお申込みいただき、当日受付で代金の支払いをお願いいたします。当日の注文はできません。
- ・駐車場の詳細や当日の連絡事項につきましても、本校ホームページにて随時アップ、更新いたします。御確認をよろしくお願いいたします。

感染症等の状況により、公開内容に変更ができた場合は、ホームページにてお知らせしますので、御注視ください。

問い合わせ先

宮崎大学教育学部附属中学校(研究主任 郡 俊一郎)

TEL:0985-25-1122 Mail:koori.shiyunichirou.e5@cc.miyazaki-u.ac.jp

FAX:0985-25-1123 HP :<https://www.miyazaki-u.ac.jp/jhs/>